



学校安全便り

第3号 担当：佐藤

「生活安全」

「けがの予防」については5月も昨年度より保健室来室者数が減りました。子どもたちが安全な生活を心掛けて生活していることがうかがえます。2か月連続で減っており、6月も15日の時点で24名です。この割合で行けば3か月連続の減少です。

しかし、気を付ければ防げたけがもあり、課題となる点をもう一度学級で指導し、けがの予防に努めていきます。

5月の状況(けがによる保健室来室者数)

令和5年5月	令和6年5月	令和7年5月
121人 ☹️	55人 😊	<u>49人</u> 😊

6月の状況(中間報告 6/15日までの集計)

令和5年6月	令和6年6月	令和7年6月
68人 ☹️	64人 😊	24人(15日まで) ※この割合で行けば <u>48人</u> 😊

ここは課題!・・・各学級で校舎内での過ごし方、遊んでよい場所を指導します。

【教室・廊下】

- ▲ 児童Aが教室で児童Bと鬼ごっこをした際に、Bと接触しAのかさぶたが剥がれて出血した。
- ▲ 児童Cが昼休み後、教室に戻ろうと廊下を歩いていた時に、後ろから走ってきた児童Dの肘が腰に当たった。
- ▲ 児童Eは階段を数段とばして飛び下り、転倒した時に中指を擦りむいた。

【昇降口・外通路】

- ▲ 児童Fは昼休みに鬼ごっこをしていて教室に急いで戻ろうとした際に、昇降口で児童Gと接触し、アスファルトのところで転倒した。
- ▲ 児童Hは校庭から教室に戻ろうとした際に、昇降口で滑って転倒した。
- ▲ 児童Iはレンガのところでボールを投げ合っていて滑って転んだ。右ひざを擦りむいた。

【感情のコントロール】

- ▲ 児童Jはそうじ中にけんかになり、児童Kに口をパンチされ、くちびるを切って血が出た。
- ▲ 児童Lは昼休み時間に鬼ごっこをしていてけんかになり、児童Mに引っかかれたところに傷がついた。
- ▲ 児童Nは昇降口に転がってきたボールを拾って児童Oにパスをした。その時にボールが他の児童Pに当たりそうになり、Pは怒ってNの足を蹴ったため、内出血した。

「交通安全」… ヘルメットを着用させてください!

職員が学区内を巡視しているとヘルメットを着用しないで自転車に乗っているお子さんを見かけることがあり、大変心配です。交通事故は他人事の話ではなく、学区内でも自転車に乗ったお子さんと自動車の接触事故が発生しております。ヘルメットを着用していたこともあり、大けがには至らずほっといたしました。

湊小学校の「生活のきまり」にも「自転車に乗る際はヘルメットを着用する。」と記載しております。学校でも繰り返し指導しておりますが、御家庭でも必ずヘルメットを着用して自転車に乗るように話していただきますよう御協力をお願いいたします。

※道路交通法にも下記のように記載されています。

道路交通法 第63条の11

第1項 自転車の運転者は、乗車用ヘルメットをかぶるよう努めなければならない。

第2項 自転車の運転者は、他人を当該自転車に乗車させるときは、当該他人に乗車用ヘルメットをかぶらせるよう努めなければならない。

第3項 児童又は幼児を保護する責任のある者は、児童又は幼児が自転車を運転するときは、当該児童又は幼児に乗車用ヘルメットをかぶらせるよう努めなければならない。

「災害安全」大雨・洪水の時には…

毎年のように、大雨や集中豪雨によって大規模な水害が国内で発生し、「線状降水帯」という言葉もよく聞かれるようになりました。線状降水帯とは、発達した雨雲が列をなし、数時間にわたって同じ場所を通過または停滞する強い降水をともなう雨域のことです。

湊地区に線状降水帯が発生することも考えられますが、石巻市の内水ハザードマップで確認すると、1時間あたり120mmの猛烈な雨が降った場合、各地に1mに達する浸水が予想されています。

また、2日間で354mm以上の雨が降った場合、旧北上川の防潮堤が決壊し、悪条件が重なった場合は最大3mの洪水が発生すると予想されています。(校舎2階の床面は3m以上あります。)

学校では、子どもたちに危険が迫る前に様々な気象情報を収集し、保護者の皆様にマチコミメールで今後の動きについて連絡をいたします。



「石巻市内水ハザードマップ」
(R7.4.1) ⇒

